小学校第６学年

国語　A

注　意

1　先生の合図があるまで、中を開かないでください。

2　調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は1ページから12ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1ページから10ページまであります。

3　解答用紙には、国語の解答らんの面と算数の解答らんの面があります。解答は、全(すべ)て解答用紙に書きましょう。

4　解答は、HBまたはBの黒鉛筆(えんぴつ)（シャープペンシルも可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

5　解答時間は、次のとおりです。

・国語A　20分間
・算数A　20分間

※　それぞれの時間になったら、合図があります。

※　国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。

※　解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

6　机(つくえ)の上の「個人番号票【解答用紙記入用】」をよく見て、解答用紙に、学校名、組、出席番号、男女、個人番号をまちがいのないように書きましょう。

1

一　次の(1)から(3)までの文の――部の漢字の読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

(1)　乗り物の　券　を買う。

(2)　子孫　のためにゴミをへらす。

(3)　めずらしい植物を　採集　する。

二　次の(1)から(3)までの文の――部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1)　魚を　や　く。

(2)　バスが　ていしゃ　した。

(3)　委員会を　もう　ける。

2 次の一と二のことわざの意味を、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

一 **「石の上にも三年」**

1 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
3 住み慣れると、そこが一番暮(く)らしやすくなること。
4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

二 **「急がば回れ」**

1 その人のためになる注意は、なかなか聞き入れられにくいこと。
2 ていねいに取り組んでも、いっこうに手ごたえがないこと。
3 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。
4 何事も用心に用心を重ねて取り組むことは難(むずか)しいこと。

3 次の**【文章の一部】**は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

一 **【文章の一部】**の中には、いくつかの文があります。それぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

二 **【文章の一部】**の中の ――― 部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。つなぎ言葉には、「**だから**」を使います。

(1) 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「**だから、**」に続く七文字を書きましょう。なお、読点（、）も字数にふくみます。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

新しく委員になった五年生は、〜（中略）〜

□。**だから、**□

〜（中略）〜　教えてあげたいと思った。

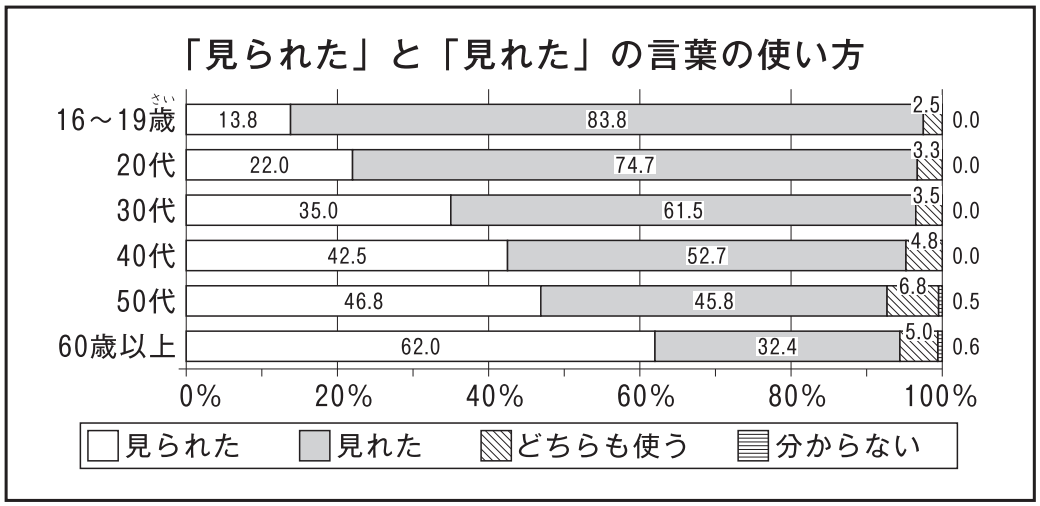
(2)　――部を二つの内容に分けるとき、「**だから**」と同じような意味の別の言葉を使うとすると、どのような言葉がふさわしいですか。次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　しかし
2　また
3　ところで
4　それで

4

高木さんは、言葉の使い方について考えるために、次の【資料】から分かったことをノートにまとめました。【ノートの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】



（文化庁『平成22年度国語に関する世論調査』による。）

【ノートの一部】

〈年代ごとのわり合から分かること〉

- 16さいから19さいまでのわり合では，「見れた」が「見られた」を大きく **ア** 。
- 20代，30代でのわり合においても，16さいから19さいまでのわり合と同じようであることが分かる。
- 50代でのわり合は，「見られた」と「見れた」の差が１ポイントで，ほぼ同じである。
- 60さい以上でのわり合を比べると，「見られた」が「見れた」を **イ** 。

〈全体から分かること〉

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると，

ウ

～（内容が続く）～

（問い）【ノートの一部】の［ア］・［イ］・［ウ］の中にはどのような内容が入りますか。ふさわしい内容をそれぞれ書きましょう。ただし、［ウ］は、「見られた」と「見れた」の二つの言葉を用いて、四十字以上、五十字以内で書きましょう。（書き出しの言葉は、字数にはふくみません。）

・ア

・イ

・ウ

16さいから60さい以上までの「見られた」と「見れた」のわり合のちがいをまとめると，

◆

40字

50字

※上の原稿用紙は下書き用なので，使っても使わなくてもかまいません。解答は，解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで，続けて書きましょう。

※数字は，20 のように1ますに書きましょう。

5

小島さんは、駅にはられていた、次の**【広告】**を見て、考えたことをノートにまとめました。**【小島さんのノートの一部】**の**ア**・**イ**の中に入る内容として最もふさわしいものを、あとの**1**から**3**までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【広告】

（広告「鉄道利用マナーUPキャンペーンのポスター」による。）

※**【広告】**の中の②には，ふりがなを付けてあります。

【小島さんのノートの一部】

この広告には、駅のホームで目が不自由な方に出会ったときに、声をかけることをすすめようとするねらいがある。

そのために、まず、①の部分では、広告の作り手が［　ア　］内容を、よびかけの表現を用いて大きな文字で示している。そのことは、広告を見る人に強い印象をあたえている。

次に、②の部分では、①をもとに、実際に［　イ　］を示している。そのことにより、広告を見る人が行動につなげやすくなっている。

〜（内容が続く）〜

ア

1　広告を見る人に行動をうながそうとする

2　目が不自由な方を勇気づけようとする

3　疑問（ぎもん）に思ったことを報告しようとする

イ

1　声をかけるときの順序

2　声をかけるときの注意点

3　声をかけるときの具体例

6

大林さんの学級では、グループごとにお気に入りの俳句を選んで、しょうかいし合うことにしました。大林さんのグループでは、次の**【俳句】**を選び、考えたことを話し合っています。**【大林さんのグループの話し合いの一部】**の［　ア　］・［　イ　］の中に入る最もふさわしい言葉を、あとの**1**か**2**のいずれか一つ選んで、その番号をそれぞれ書きましょう。

【俳句】

とつぷりと後ろ暮れゐし焚火かな　　松本たかし

【大林さんのグループの話し合いの一部】

大林　「焚火かな」というのは、「焚火だろうか」と疑問に思っているのかな。

池田　それはどうかな。今までの俳句の中に出てきた「かな」というのは、感動を表すときに使われていたわ。この俳句の「かな」も、「焚火だなあ」と焚火の様子をしみじみ思うという意味と考えたほうがいいんじゃないかしら。

木村　なるほど。そうすると、「とつぷりと後ろ暮れゐし」の部分が大切になってくるね。その部分を想像すると、日がすっかりしずんで周りが暗くなっている様子が目にうかぶね。

小松　そうね。そのことが「とつぷりと」という言葉に表れているね。ここでは、焚火とその周りの景色とを、［　ア　］いるように思うわ。

大林　そう考えてみると、焚火の周りの景色によって、［　イ　］がいっそう強調されて、その様子がはっきりと想像されるね。

～（話し合いが続く）～

ア

1　分類して

2　対比して

イ

1　焚火の明るさ

2　夜の暗やみ

7 次は、去年の選抜高等学校野球大会開会式での【選手宣誓[※1]の一部】です。□の部分の表現は、話し手がどのようなくふうをすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。その説明として最も ふさわしいものを、あとの**1**から**5**までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

（解答の順序は、問いません。）

【選手宣誓の一部】

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興[※2]の真っ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。

人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗りこえることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を。
見せましょう。日本の底力、絆[※3]を。

〜（宣誓が続く）〜

（第八十四回選抜高等学校野球大会開会式選手宣誓による。）

写真

▲選手宣誓の様子

※1「宣誓」…多くの人の前でちかいを述べること。
※2「復興」…もとのように再び盛んになること。
※3「絆」……人と人との強いつながり。

1 人や物、出来事（できごと）を、ほかの何かにたとえることで、想像しやすくしようとしている。

2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並（なら）べることで、思いを明確にしようとしている。

3 同じ言葉を何度もくり返して使うことで、伝えたいことを強調しようとしている。

4 動きや音声を言葉で表すことで、その場の様子を分かりやすくしようとしている。

5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

これで、国語Ａの問題は終わりです。

注　意

合図があるまで、次のページを開かないでください。